

令和8年4月28日

各市町剣道協会長 様
各道場代表者 様

長崎県剣道連盟 普及委員会
委員長 平井節朗

少年剣道人口減少に伴う普及・広報活動への取組について（お願い）

長崎県少年剣道人口調査では、平成26年度（小）1480人、（中）1102人。そして、令和7年度（小）909人、（中）811人。10年間における減少率は（小）39%、（中）26%という結果でした。

また、全国の高校生剣道人口は、平成26年度45616人、令和6年度31720人。実に30%減でした。

このことは、社会環境の変化や子供の人口減、多種多様なスポーツの選択肢等も一因として考えられ、このままでは剣道人口の減少は避けられません。10年後が心配されます。

各協会や道場にあっては、それぞれの環境や体制等の違いもありますが、少年剣道人口減少の歯止めに関わる取組をできる範囲でできることを推し進めていただきたく存じます。

下記（表①、②）の通り令和7年度の少年剣道基本・強化錬成会時のアンケート結果の一部をご紹介しますので、普及や広報活動への取組の参考にしていただければ幸いです。

表①【令和7年度少年剣道基本・強化錬成会時のアンケートから】

子供たちへのアンケートから	保護者へのアンケートから
【質問】あなたが剣道をはじめたきっかけは何ですか（数字は人数）	【質問】お子様に剣道をさせることで期待することは何ですか（数字は人数）
・親にすすめられて129 ・友だちにさそわれて54 ・剣道体験に参加して31 ・先生にすすめられて17 ・広告を見て9 ・その他（親戚、親、兄弟姉妹がしていた45、自分から18、かっこいいから2、アニメ・チャンバラ等）	・礼儀作法76 ・心身が鍛えられる71 ・集中力をつける22 ・試合に勝つ6 ・友だちづくり5 ・その他（やりがいが見られる、思いやりや人の気持ちが分かる、心の育成、続ける力、協力心）

表②【令和7年度少年剣道基本・強化錬成会時のアンケートから】

保護者へのアンケートから	指導者へのアンケートから
<p>【質問】 剣道を普及させるには どうすればよいと思われませんか</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS等での情報発信、イベント開催（体験活動）等、子供どうしの声の掛け合い ・ メディア露出を多くする（チラシ配布、広報活動） ・ 初期費用が高いイメージの払拭や制度があればよいと思う ・ 日々の稽古が夜なので、夕方の活動があればよい ・ 夏は暑いので環境を整える ・ やめない、楽しいと思える稽古 ・ 地域住民、学校、生徒への勧誘 ・ 中、高部活の復活（休部） ・ スター選手の招聘、アピール ・ 剣道漫画、アニメ ・ 剣道を身近に感じてもらう ・ 市内で定期的な交流稽古会 ・ 指導者の人数充実 ・ 試合会場が狭い 	<p>【質問】 剣道発展のためのアイデアがあればご記入ください</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種メディア、SNSの有効活用 ・ イベント開催（体験会） ・ 試合、錬成会 ・ 学校訪問体験（幼・保） ・ 各段階別に応じた指導の在り方 ・ 不要の剣道具再利用 ・ 送迎のあり方、送迎車負担の工夫 ・ 誰もが通える日の工夫 ・ 広場など人目に付く場所で剣道をするなど、まずは剣道を見てもらう ・ 経済的負担軽減（家庭に眠っている剣道具を安価で譲ってもらう等） ・ 公園や庭で素振り等（自主練）で地域の子供たちにアピール ・ 若手指導者の増員 ・ 複数の競技の掛け持ちOK、週1回参加OK ・ 地元出身若手への仕事斡旋

（参考）少年剣道人口減少の歯止めや人口増に関わる取組事例

- 体験会・お試し期間……夏休み・短期間・随時等
- 剣道の良さが見える化…ポスター・チラシ・SNS・動画・剣道で身につく力
- 中高年に対するゆるめ稽古の設定…初心者・健康志向対策希望者
- イメージの更新・払拭……高い・臭い・痛い・怖い
- 学校の授業や部活動…剣道授業協力者制度・部活動外部指導者
- 行事参加（餅つき大会）…少年剣士とともに家族等参加

……等々